

## 特集:新年度あいさつ

副院長  
(兼)医療連携部長  
山田昌弘・・・1

医療連携・相談室  
担当医師 & スタッフ  
紹介・・・2～3

医療連携室からの  
お知らせ・・・4

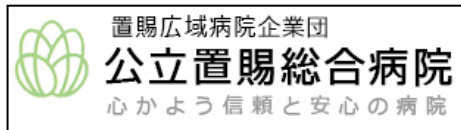
## 「2018年診療報酬改定と医療連携」

副院長(兼)医療連携部長 山田 昌弘

新年度に当たり、一言ご挨拶申し上げます。置賜広域病院につきましては、日頃より地域の医療介護にかかわる各機関より多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度の診療報酬改定も定まり、経営担当として日夜準備に取り掛かっておりますが、改定の医療連携に関係した部分について一部ご紹介とお願いを申し上げます。

**7:1 入院基本料(入院料1)：**お陰様をもちまして昨年度無事7:1看護体制を取得することができ、この度の診療報酬改定で基準は一部厳しくはなりましたが、これを継続していく予定です。そのために引き続き平均在院日数の短縮に努めて参りますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

**入退院支援加算：**今回の診療報酬改定では今までの退院支援から一步進んで、入院早期からの介入が評価対象となり、これまでの退院支援は入退院支援と改称されました。折からポリファーマシーも問題となり、入院時持参薬等のチェックを行う**入院時支援加算**も新設されました。今後調剤薬局さんとの医薬連携も必要となってくると思われまますので多職種連携をよろしくお願い致します。また、**退院時共同指導料**につきましては、今回リアルタイムでのTV会議でも算定可能となりましたので、オキカンファの活用をよろしくお願い致します。



その他遠隔医療については、**オンライン診療料、医学管理料**も新設されましたので、オキトピアⅡの活用も考えられると思われまます。

**選定療養費：**これまで外来に紹介状なしで受診した場合は、非紹介加算(保険外診療)として500床以上の病院では5,000円以上が義務化されておりましたが、今回これが400床以上の病院で義務化されました。当院は開院以来1,620円をいただいておりますが、この4月から3,240円にさせていただきますところでした。しかし、前記の義務化に伴い10月からは5,000円以上をいただかなければなりません。先生方におかれましては是非紹介状を書いていただきますようお願い申し上げます。当院としては、紹介状に対する返信のチェックを強化して参りますのでよろしくお願い致します。

# 平成30年度 医療連携・相談室 医師・スタッフ紹介

平成30年度、医療連携・相談室スタッフ体制を紹介いたします。  
山田医療連携部長はじめ、医師（副部長）5名、看護師12名、社会福祉士5名、  
精神保健福祉士2名、事務職等、30名の組織となりました。

医療連携相談室スタッフ人員の推移（医師を除き）

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
11名	12名	12名	13名	14名	15名	19名	24名

地域包括ケア、地域連携が推進される中、年々役割拡大される  
部門として、求められる役割を遂行し、医療と介護の連携推進に  
努めてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

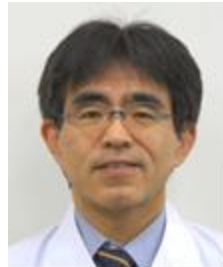


## <医師紹介>



山田昌弘  
(やまだ まさひろ)

副院長  
(兼) 医療連携部長  
(兼) 医療情報部長  
(兼) 医療連携・相談室長  
(兼) 診療情報管理室  
(兼) 呼吸器外科統括科長



高橋 潤  
(たかはし じゅん)

医療連携部副部長  
(兼) 教育研修部副部長  
(兼) 診療部長（総合診療系）  
(兼) 総合診療科科長



渡辺 晋一郎  
(わたなべ しんいちろう)

医療連携部副部長  
(兼) 診療部長（内科系一）  
(兼) 内視鏡部長  
(兼) 教育研修部副部長  
(兼) 内視鏡室長  
(兼) 消化器内科科長



大樂 勝之  
(だいらく かつゆき)

医療連携部副部長  
(兼) 診療部長（外科系六）  
(兼) 整形外科統括科長



鈴木 春芳  
(すずき はるよし)

医療連携部副部長  
(兼) 精神科医長



榎木 真明  
(つきぎ まさあき)

医療連携部副部長  
(兼) 泌尿器科科長

# <スタッフ紹介>

… ★新メンバー



医療連携・相談室長  
(兼) 医療連携副部長 (看護)  
たかいし じゅんこ  
高石 純子

連携部門



主任(社会福祉士)  
ふせ としみち  
布施 敏道



嘱託職員  
せいの はるみ  
情野 はるみ



予約センタースタッフ

相談支援部門



副看護師長  
緩和ケア認定看護師  
いとう ひろみ  
伊藤 裕美



★看護師  
さがえ わかこ  
寒河江 和加子



主査(社会福祉士・  
精神保健福祉士)  
はせがわ たい  
長谷部 泰



主事(精神保健福祉士)  
おおつ なつき  
大津 菜月



★主事(社会福祉士)  
はらだ あやの  
原田 文乃

退院支援部門



★看護師長  
ふじかわ かつこ  
藤川 勝子



副看護師長  
たかはし みちこ  
高橋 美智子



主査(看護師)  
かねこ みちよ  
金子 美智代



看護師  
なす やすこ  
那須 康子



主査(看護師)  
たかはし ゆかり  
高橋 紫



社会福祉士  
さいの あつこ  
齋野 敦子



主事(社会福祉士)  
いのうえ えり  
井上 笑里

入院支援部門

入院前からの支援部門が加わりました。看護師4人体制で入院前に患者情報の把握、退院困難な要因等を確認し入院病棟へ繋ぎます。

左から  
かねこ ゆみこ  
★金子 由美子  
あおき ひろこ  
★青木 弘子  
うちやま ようこ  
★内山 洋子  
かんお しずこ  
★神尾 しず子





## 医療連携・相談室からのお知らせ

公立置賜総合病院

〒992-0601  
山形県東置賜郡川西町  
大字西大塚 2000 番地

TEL :  
0238-46-5000

予約センターTEL :  
0238-46-5700

FAX:  
0238-46-5722

E-MAIL:  
renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念

心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団  
公立置賜総合病院

置賜地域大腿骨頸部骨折地域連携パス協議会(H30.4.19)で行われた  
**特別講演の概要報告**

「**骨粗鬆症治療戦略～佐野市における循環型 OLS の取り組み～**」

講師：上石クリニック院長上石聡先生

〈課題〉 大腿骨近位部骨折の手術後反対側の下腿骨を再び骨折してしまう可能性は非常に高く、骨粗鬆症が大きく関係している。骨粗鬆症の治療継続が非常に重要であるにもかかわらず、痛みがなくなると治療を自己中断してしまう患者が多い。

⇓

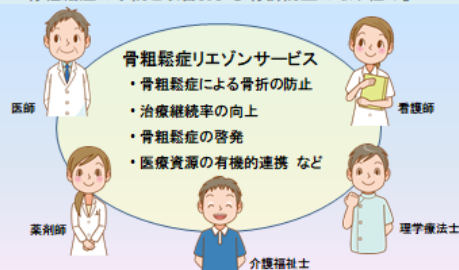
〈治療戦略〉 骨粗鬆症の予防と骨折予防として**医師及び多職種のメディカルスタッフが相互に連携しながら実施する骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS：Osteoporosis Liaison Service)**が有用である。

- ① 整形外科に限らず、かかりつけ医も骨粗鬆症患者を把握して患者に治療の必要性を理解してもらいドロップアウトする患者を減らしていくことができる。
- ② 継続治療をかかりつけ医が担うことで、骨折発生率を減少させ、患者および病院の負担軽減につながる。
- ③ 病院とかかりつけ医で紹介患者の経過報告や情報交換を行うことで地域のチーム医療が向上していく。

### 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)とは

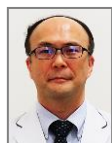
骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS:Osteoporosis Liaison Service)とは

「医師および多職種のメディカルスタッフが相互に連携しながら実施する、骨粗鬆症の予防と改善および骨折防止の取り組み」



転載先：「1.導入編 OLSとは何？ 2.OLSは、どんなことを指す？ わかる！できる！骨粗鬆症リエゾンサービス 骨粗鬆症マネージャー実践ガイドブック」 中野 利幸 監修 | 医業ジャーナル社 | 23, 2013より作成

### 形成外科が常勤医師体制に（H30.4月より）



週3回の外来診療を行います。外傷後、手術後等の気になる傷の治療でお悩みの際にはご遠慮なくご紹介いただければ幸いです。

【外来診療日】

月・木曜日 午前 常勤医師 菊池 憲明  
火曜日 午前 池山 有子/山形大学附属病院医師（隔週）

### あとかき

春の陽気に心弾む季節となりました。平成30年度、組織に新たなメンバーを迎えスタートした施設も多いと思います。入職した方も迎える側も引き締まる思いですよね。

人と人との出会い、繋がり、関係性を大切に、まずは内部連携をしっかりと行い、情報共有・伝達に関する医療安全が図られることを第一にしたいものです。

